

石橋委員（自民議連）

平成30年3月7日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）学校におけるAEDを含む一次救命講習の実施について

学校においても児童生徒を対象としたAED実習や一次救命を含む防災教育を実施することで、街全体の救急救命率を押し上げ、「災害に強いまちづくり」を目指すべきと考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

学校における防災教育につきましては、児童生徒に対し、災害発生時に、自らの命を守るために行動できる力を身に付けさせることに加えまして、心肺蘇生などの救命措置の手順や方法を身に付けさせ、他者の命も尊重しようとする態度を育てることが重要であることから、今年1月の県立学校長会議及び市町教育長会議におきまして、児童生徒の発達段階を踏まえながら、AED等を使用した実習を在籍時には少なくとも一度は実施するよう、指導したところでございます。

県教育委員会といたしましては、保護者や地域の方と協働して実施する防災キャンプなど、様々な教育活動を通じた防災教育の充実を図ることなどによりまして、児童生徒が進んで他の人々や地域の安全に役立ち、「災害に強いまちづくり」に貢献できるよう、引き続き、各学校、市町教育委員会を指導してまいります。